

優秀賞
(子どもの部)

「おてがみはたからもの」

浅草寺幼稚園年中

尾崎 紗楽

やなぎだせんせいこんにちは。わたしは、ようちえんねんちゅう5さいです。

わたしは、としよかんでよくほんをかります。おもしろいおばけやどうぶつのほんです。とくに、ねこのほんがだいすきです。

わたしは、「おへんじくください。」をよみました。なかなかおへんじがこなくてさみしいきもちになりました。でも、ゆうびんやさんがおてがみをとどけてくれたときうれしいきもちになりました。

わたしもおなじきもちになったことがあります。わたしも、おともだちとおてがみこうかんをするからです。もらったおてがみは、おてがみぼっくすにたいせつにしまっています。なつやすみに、ようちえんのせんせいからとどいたおはがきは、だいじにおへやにかぎっています。

ほんのさいごにくろくんがとらくんにおてがみをかいて、とらくんがおどろくところは、わくわくしました。わたしもおてがみをわたすときは、わくわくします。おじいちゃんおばあちゃんへのおてがみは、きってをはってぽすとにいれるので、もつとわくわくどきどきします。いつとどくかな、よんでくれたかなとずっとときになります。

いまかいているおてがみも、よんでもらえるかな、わたしのきもちがとどくかなと、どきどきしま

す。はじめて、このくらいながいおてがみをかきました。

わたしは、これからもおてがみをたいせつにしたいです。

柳田邦男先生からのメッセージ

〔優秀賞〕

尾崎紗楽さんへ

『おへんじください』という絵本のしゅ人公が、おてがみをだしてもおへんじがこなくてさみしくなったり、おへんじがきたときうれしくなったりするところで、紗楽さんもすっかりおなじきもちになつて、絵本のものがたりのなかにとけこんでいるようですが、いきいきとかかれています。

そして、じぶんも、ともだちにおてがみをわたすときに「わくわく」するし、おじいちゃんおばあちゃんへのおてがみに切手をはってポストに入れるときには、もっと「わくわくどきどき」するとかいっていますね。

そのようすが目にみえるようなすばらしい文章（ぶんしょう）になっています。

幼稚園の年中ぐみの年れいで、絵本のものがたりをたのしむじぶんのこころのうごきや、おてがみをだすときの「わくわく」するこころのようすを、このように感動的（かんどうてき）にひょうげんすることのできる紗楽さんの感性（かんせい）のすばらしさに拍手（はくしゅ）をおくります！